

## 令和元年度（2019年度） 総務常任委員会管内視察の概要

- 1 視察日 令和元年（2019年）7月24日（水）
- 2 視察者 総務常任委員会委員（7名）  
橋口海平（委員長）、河津修司（副委員長）、鎌田 聡、田代国広、  
吉田孝平、池永幸生、前田敬介

### 3 視察の概要

#### （1）東海大学阿蘇キャンパス（阿蘇郡南阿蘇村）

東海大学阿蘇キャンパスは、阿蘇大橋の落橋や周辺の大規模斜面崩壊など熊本地震の象徴的な場所に位置しており、県では、熊本地震震災ミュージアム具体化推進事業において、熊本地震に関する情報等を発信する中核拠点として整備を目指している。



東海大学阿蘇キャンパス1号館

特に、阿蘇キャンパス1号館の直下を走る断層が建物内に表出するなど、学術的価値が高いとされており、令和元年度において、1号館建物と地表地震断層を震災遺構として保存するための工事を実施することとしている。

また、『ONE PIECE』連携復興応援事業として、被災地域の復旧・復興を後押しするため、漫画『ONE PIECE』の「麦わらの一味」の仲間たちの像を被災市町村に設置することにしており、同キャンパスには、来年度以降、考古学者ロビンの像を設置する計画となっている。

今回の視察では、これらの取り組み状況等について県執行部から説明を受け、現地を視察するとともに、大学の案内により、平成31年3月に完成した同キャンパス農学実習場の整備状況等を見学した。

初めに、正門付近に設置されているポケモンGOと『ONE PIECE』のコラボプロジェクト「ポケストップ」について説明を受け、すでに熱心なファンによるSNSの発信があっており、これまで熊本を知らなかった人にも情報が届き、来熊者の増加などさまざまな効果が期待されるとの説明があった。

次に、1号館付近において、同館の被害状況の展示に向けた建物の改修計画や、地表地震断層を樹脂で固め保存すること、また、同館の隣接地に熊本地震に係る展示をする震災ミュージアムの整備を検討中であるとの説明があった。

なお、同キャンパス内に設置予定の考古学者ロビンの像については、1号館付近の整備計画と調整を図り、最適の場所を選定したいとの説明があった。

最後に、農学実習場において、熊本地震当時、地震により水道が寸断され、飼われている牛等の世話を続けるため、職員が湧水地まで1日5～10往復して対応していたが、現在は設備も整い、学生も週3回ほど実習や研究のために来ているとの説明があった。

## (2) 阿蘇火山博物館(阿蘇市赤水)

阿蘇は、広大なカルデラとその周辺に6万人の人々が暮らすなど、古来より自然と人が絶妙なバランスをもって共生している地域である。

県では、平成27年の「明治日本の産業革命遺産(万田坑等)」、平成30年の「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産(崎津集落等)」に続き、顕著な普遍的価値を有

する文化遺産として、阿蘇の世界文化遺産登録を目指しており、昨年8月に阿蘇世界文化遺産学術委員会を設置し、世界文化遺産としての価値や構成資産、保護措置等について検討をしている。

今回の視察では、阿蘇の魅力について阿蘇火山博物館から説明を受けるとともに、世界文化遺産登録に向けた現在の取り組み状況等について県執行部から説明を受けた。また、同博物館の案内より館内を視察した。

阿蘇火山博物館からは、阿蘇のほかにもカルデラ地形はあるが、その多くは湖であったり、海底に沈んでいたりして見るのが難しく、その点、阿蘇は陸上にあつて、美しいカルデラ地形を維持しており、非常にすばらしいものとの説明があつた。

また、県執行部からは、世界遺産暫定一覧表への記載を目指し、蒲島知事及び阿蘇郡市7市町村長が文化庁へ要望活動を行うとともに、学術委員会では、「阿蘇全体に共通する土地利用が形成した大景観」及び「地形・地質に応じた独特のカルデラの土地利用の歴史の変遷」の2つのコンセプトを基にして、阿蘇が持つ顕著な普遍的価値を定義する検討をしているとの説明があつた。



阿蘇火山博物館

## (3) 阿蘇山上(阿蘇市黒川)

阿蘇山上は、平成28年10月の爆発的噴火以降、火山ガス検知器の故障等により、観光客の安全確保ができないなどの理由により立入規制が行われてきた。

その後、機器類の整備や火山活動が落ち着いてきたことにより、立入規制も状況に応じて解除され、客足の回復など地域の復興にも光が見えてきている。

今回の視察では、阿蘇火山博物館での説明を踏まえて、阿蘇の魅力を現地で体感するとともに、再建が始まった阿蘇山ロープウエーの状況について視察した。

阿蘇山ロープウエーからは、現在、規制レベルが上がり、山頂への立ち入りができないため、麓側の地盤を固める作業をしているが、このまま規制レベルが下がらず、山頂部の工事に着手できない場合、目標とする令和3年3月までの竣工は厳しくなるので、その場合は、関係機関と改めて相談したいとの説明があつた。



阿蘇山上(阿蘇山ロープウエー)